



総務部	TEL:093-695-3111 E-mail: info@ksrp.or.jp 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1 産学連携センター1階	学術情報センター 図書室	TEL:093-695-3150 TEL:093-695-3151 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1-3 学術情報センター2階
産学連携センター	TEL:093-695-3006 産学連携部 E-mail: iac@ksrp.or.jp GX推進部 E-mail: fais-gxsuishin@ksrp.or.jp 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1 産学連携センター2階	ロボット・DX推進センター	ロボット産業推進部 TEL:093-695-3085 DX推進部 TEL:093-695-3077 E-mail: robodx@ksrp.or.jp 〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北8-1 技術開発交流センター1階
自動車産業支援センター	TEL:093-695-3685 E-mail: car@ksrp.or.jp 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1 産学連携センター2階	中小企業支援センター	TEL:093-873-1430 E-mail: k_info@ksrp.or.jp 〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町2-1 北九州テクノセンター1階
半導体産業支援センター	TEL:093-695-3007 E-mail: ksnet@ksrp.or.jp 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1 産学連携センター2階		



ACCESS

- 公共交通機関の場合 JR折尾駅 バス停 → 市営バス・西鉄バス → 学研都市ひびきの [所要時間約20分]
北九州空港バス停 → JR朽網駅 → JR折尾駅
- 車をご利用の場合 福岡方面 北九州都市高速道路 黒崎出入口(黒崎・折尾出口下車) 折尾方面へ → 北九州学術研究都市 [北九州都市高速道路 黒崎出入口からの所要時間約20分]
小倉都心 → 北九州都市高速道路 東田出入口 → 黒崎バイパス 皇后崎ランプ → 北九州学術研究都市 [小倉都心からの所要時間約30分]

KSRP

KITAKYUSHU SCIENCE AND RESEARCH PARK

GUIDE BOOK

2025 ▶ 2026



新たな産業創出と先端科学の学術研究拠点

北九州学術研究都市

発行:公益財団法人北九州産業学術推進機構 [FAIS]

新たな産業創出と 先端科学の学術研究拠点

北九州学術研究都市は、2001年4月に「アジアに開かれた学術研究都市」として、「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指して、福岡県北九州市若松区にオープンした研究開発・産学連携拠点です。国内で唯一、理工系の国公私立大学や研究機関、先進企業が同じキャンパスに集まり、先端的な科学技術、特に「環境技術」と「情報技術」を中心に活発な教育研究活動を展開しています。

北九州学術研究都市が目指すもの

大学等の『知』を活用した地域の産業・学術の振興

・アジアに開かれた学術研究拠点 ・新たな産業の創出 ・技術の高度化

新たな技術と豊かな生活を創り出す

アジアの先端産業都市の実現

沿革

- 1988年** 北九州市ルネッサンス構想(市基本構想)策定
- 1989年** 北九州学術研究都市基本構想策定
- 2000年** 早稲田大学大学院先端技術デザイン研究科構想発表
九州工業大学大学院生命体工学研究科開設
- 2001年** 財団法人北九州産業学術推進機構設立
北九州学術研究都市開設
北九州市立大学国際環境工学部開設
早稲田大学理工学部総合研究センター九州研究所開設
- 2002年** 共同研究開発センター(産学連携センター2号館)開設
福岡大学大学院工学研究科開設
情報技術高度化センター(産学連携センター3号館)開設
- 2003年** 北九州市立大学大学院国際環境工学研究科開設
早稲田大学大学院情報生産システム研究科開設
- 2005年** 事業化支援センター(産学連携センター4号館)開設
- 2008年** 技術開発交流センター(産学連携センター5号館)開設
- 2009年** 北九州学術研究都市連携大学院カーエレクトロニクスコース開設
- 2013年** 北九州学術研究都市連携大学院インテリジェントカー・ロボティクスコース開設
- 2022年** 北九州市ロボット・DX推進センター開設
- 2025年** 北九州市新・学術研究都市戦略「G-CITY 戦略」策定

整備事業

- **整備の基本方針**
北九州学術研究都市の開発は、周辺の自然環境や都市環境を活かしながら、先端科学技術に関する教育・研究機関の集積と良好な住宅街の供給を同時に行う『複合的な街づくり』として進めています。
- **開発地域**: 若松区西部・八幡西区北西部
- **開発総面積**: 約335ha
- **計画人口**: 12,000人
- **整備スケジュール**
【第1期事業(約121ha)】平成7年度～18年度
事業主体: (独)都市再生機構
【第2期事業(約136ha)】平成14年度～30年度
事業主体: 北九州市
【第3期事業(約68ha)】未定
【河川事業(約10ha)】
- **北九学術研究都市の屋間人口**
(第1期施行区域大学・関連施設ゾーン)
約3,700名(令和7年5月1日現在)
学生: 2,590名(うち留学生860名)
教員 ※専任教員のみ: 169名(うち企業出身者21名)
研究員: 177名(うち外国人研究員55名)

特色

理工系の大学・研究機関、研究開発型企业等を同一のキャンパスに集積

- 国・公・私立大学(1学部4大学院)
福岡大学大学院工学研究科 北九州市立大学国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科
九州工業大学大学院生命体工学研究科 早稲田大学大学院情報生産システム研究科
- 研究機関(12機関)
- 研究開発型企业等(57社) (令和7年8月1日現在)

研究者・教員・学生相互の交流と連携

- 進出大学による共同研究、教員等の交流
- 単位互換の実施
- 進出大学による連携大学院の運営 カーロボAI連携大学院

進出大学の教育・研究理念の共通化

- 先端的な科学技術分野での教育・研究の展開
- 産学連携の促進
- 起業家精神の育成
- アジアの学術研究拠点の形成

キャンパスの一体的な運営、施設の共同利用

- 学研都市進出大学の代表者で構成する「キャンパス運営委員会」による共同事業の企画・立案
- 図書室、情報処理施設、利便施設の共同利用



G-CITY 戦略

G-CITY戦略は、北九州市学術研究都市開設からこれまでの24年間を「創成期」「成長期」と捉え、これからを「発展期」として、大学の「知」と先端産業の「技術」が融合し、連続して新たなイノベーションを創出していくために必要な産学連携の機能やシステム、周辺エリアを含む、まち全体の魅力向上など総合的な見地から、今後の取り組みの方向性を示すものです。



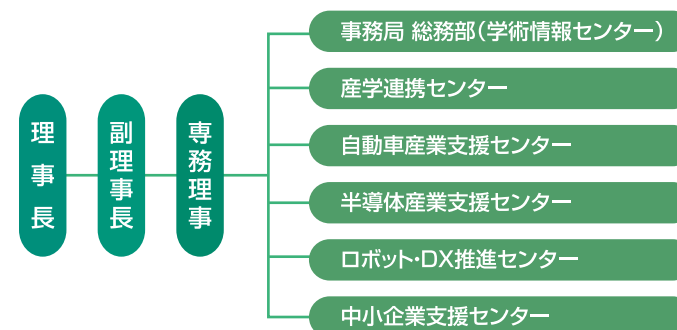
北九州学術研究都市の管理・運営

公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)は、北九州学術研究都市の管理・運営を担い、北九州地域における産学官連携による研究開発や学術研究の推進等を行うことで、産業技術の高度化や活力ある地域企業群の創出・育成に寄与することを目指しています。



理事長 松永 守央
役員等構成 〈学 界〉学研都市参画大学副学長
市内理工系大学長等
〈産業界〉商工会議所等経済団体
〈行 政〉北九州市、福岡県

FAIS組織図



学研都市の進出大学、研究機関、企業および産学連携施設

1 北九州市立大学

国際環境工学部

■学生定員:1,020名
環境化学工学科
機械システム工学科
情報システム工学科
建築デザイン学科
生命工学科

大学院国際環境工学研究科

■学生定員:346名
環境システム専攻
環境工学専攻
情報工学専攻



2 九州工業大学大学院



生命体工学研究科

■学生定員:352名
生体機能応用工学専攻
人間知能システム工学専攻
生命体工学専攻

3 早稲田大学大学院



情報生産システム研究科

■学生定員:460名
情報アーキテクチャ分野
生産システム分野
集積システム分野

4 福岡大学大学院

工学研究科

■学生定員:14名
資源循環・環境工学専攻
エネルギー・環境システム工学専攻



学生数および教員数

(令和7年5月1日現在)

大学	学部	修士	博士	研究生	特別研究学生	学生数計	教員数
北九州市立大学	国際環境工学部	1,133 (32)	—	1 (1)	0 (0)	1,134 (33)	87
北九州市立大学	国際環境工学研究科	—	311 (49)	149 (125)	0 (0)	460 (174)	—
九州工業大学大学院	生命体工学研究科	—	298 (49)	103 (54)	2 (2)	404 (106)	43
早稲田大学大学院	情報生産システム研究科	—	445 (415)	135 (124)	3 (3)	586 (545)	38
福岡大学大学院	工学研究科	—	6 (2)	0 (0)	0 (0)	6 (2)	1
合計		1,133 (32)	1,060 (515)	387 (303)	6 (6)	2,590 (860)	169

()内は留学生数

A 産学連携センター

産学連携センター 1号館



産・学・官が手を組んで
研究を進める中核施設

「公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター」などの研究機関、最先端の研究を行う企業、「福岡大学大学院工学研究科」が入居しています。また、コミュニケーションスペース「HIBIKINO ODORIVA(ヒビキノオドリバ)」や研修室、会議室なども提供しています。

- 貸研究室(31室、オフィス系)
- 研修室、会議室(中・小)、特別会議室、特別応接室

B 共同研究開発センター

産学連携センター 2号館



半導体微細加工技術の
研究開発を支援する施設

企業や大学などが半導体製造関連分野の研究開発などを行う施設です。ICやMEMSの試作を行う研究開発機器の開放や研究室の提供などを行います。IC試作体験実習の受け入れも可能です。

- 貸研究室(7室、オフィス系)
- 共同利用のIC・MEMS向け微細加工装置群を設置
(イオン注入装置、電子ビーム描画装置、両面露光装置、高速熱処理装置(RTA)、ダイシングソー、ボンディング装置等)

C 情報技術高度化センター

産学連携センター 3号館



ネットワークや半導体
設計に関する
研究開発を行う施設

企業や大学などが高度な情報通信技術や半導体設計技術の研究開発などを行う施設です。半導体技術者育成のための研修室や半導体評価・解析を行う機器の開放、研究室の提供などを行います。

- 貸研究室(34室、オフィス系・小規模研究室)
- 半導体評価・解析を行う機器等を設置

D 事業化支援センター

産学連携センター 4号館



大学発ベンチャー等の
研究開発や事業化を
支援する施設

オフィス系研究室のほか、機械系と化学系の研究室や小規模ブース単位で利用できる共同研究室を提供しています。

- 貸研究室(36室、オフィス系・機械系・化学系)
- 会議室(中・小) ●共同研究室(10ブース)
- シェアオフィス

E 技術開発交流センター

産学連携センター 5号館



ロボット、カーエレクトロニクス
分野の技術開発支援やDXを
推進する施設

ロボット導入やカーエレクトロニクスの技術開発支援、DX(IoT)の導入や業務のデジタル化を推進する施設です。また、学術研究を目的に訪れる方のための宿泊室も提供しています。

- 貸研究室(48室、オフィス系・機械系・化学系)
- 宿泊室(9室、シングル8室・ツイン1室) ●会議室(中・小) ●交流室(1室)

F 学術情報センター

図書室
情報処理施設



情報を集積・発信する
マルチメディアステーション

学術情報の収集提供(図書室)の機能、情報処理教育施設の機能を持つほか、情報コンテンツ制作をサポートする環境を提供しています。

貸研究室賃料

◎2,000円/㎡・月(共益費別 500円/㎡・月)
(例:研究室50㎡の場合およそ150万円/年 光熱水費等別)

※産学連携センター内

※FAISは、北九州市から指定管理者としての指定を受け、産学連携施設の効果的・効率的な管理・運営を行っています。



ハインツテック株式会社

2021年、早稲田大学大学院情報生産システム研究科の三宅研究室で開発されたシーズ技術の事業化を目的に設立。早稲田大学情報生産システム研究開発センター、産学連携センター別館、事業化支援センターにおいて、特殊なナノ構造を持つ「ナノチューブ膜スタンプ」で、従来導入が難しかったたんぱく質などの高分子を短時間、高効率、高生存率で細胞に導入、抽出することができる細胞加工技術や、それを実現するための装置・アプリケーションを研究開発しています。

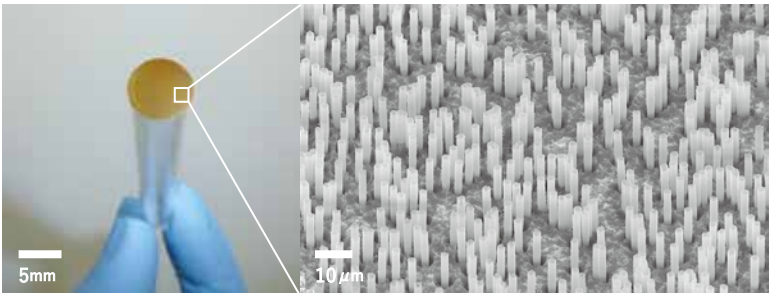
Q. 入居のきっかけは
A. 三宅研究室の技術シーズを事業化するため、起業と同時に学研都市に入居しました。大学の技術を会社に移転していく際に、私たちのようなモノづくりの分野では、ちょっとしたパラメータや環境の変化で結果が全く変わるといことがよくあります。これをいかに再現して、かつ売り物にしていけるかという観点では、技術シーズを生み出した研究室が物理的に近い方がいいということで、ここに入居を決めました。

Q. 学研都市拠点のメリットは
A. 三宅先生の研究室の隣で仕事ができるというのは一番のメリットですね。共同研究開発センター（半導体の研究・試作施設）が利用できるのも良いポイントです。また、新たに学研都市の別分野の先生方との共同研究も生まれました。ここにはいろいろな分野の先生方がいらっしやるので、お互いに新しい相乗効果が生み出せることは、すごくいいところだと思います。北九州市がスタートアップ企業を熱心に支援してくださっていることもあって、県外からも「北九州いいな」という声をよく聞きます。

Q. ハインツテックの強みとは
A. 当社は年齢や性別の観点だけではなく、専門分野やバックグラウンドが異なるスタッフで構成されていてダイバーシティ豊かな職場です。同じバイオでも動物細胞に強い人、微生物に強い人と様々ですし、製造側には場所柄か、製鉄関係の出身

者もいて、多様な観点を取り入れることができます。私たちの技術は、入口が微細加工技術で、出口がバイオテックという融合領域です。一つの技術的事象に対して、様々な角度から意見が出てくるというのは、大きな強みになります。細胞に物質を導入する技術は、化学・生物的手法と物理的手法と大きく二つの従来法が確立されていて、グローバル大手企業がシェアを持っていますが、世界では私たちのような企業が開発した新しい技術がちらほら出始めている、いわば過渡期です。日本ではまだ同じような分野の方が多くはないのですが、そのような中で新しい技術を世の中に送り出せるのも、多様なバックグラウンドを持つ組織があってできていることなのです。

Q. 今後のビジョンを教えてください
A. 先ほどの従来法は、今では当たり前に使われている技術ですが、より効率的に、簡単に、新しい加工も可能となる私たちの開発している技術を、将来的には世界中の方々が当たり前に使っていただける



[企業概要]
企業名 ハインツテック株式会社
代表者 青木 睦子
本社所在地 福岡県北九州市若松区ひびきの1-8
U R L <https://hynstech.com/>

世界にしたいなと思っています。また、この技術の出口は現在、再生医療、細胞治療という医療関係にフォーカスしていますが、他にも食品分野や環境分野での品種改良などにも応用できるため、そのような分野の種まきにも着手しています。私たちの細胞加工技術が使える分野をどんどん広げていき、バイオテックの進化をリードする会社のひとつに位置づけられたいと思います。

研究開発に最適な学研都市

研究開発をサポート

支援機関（FAIS）の各専門コーディネータが企業の研究開発をサポートします。大学研究者などの連携先を探す相談や、マッチングの支援等を受けることができます。また、FAIS研究開発補助金へ申請できます（助成要件あり）。

用途に応じたオフィスの提供

研究開発の内容に適したオフィスを用意しています。ベンチャー企業等には賃料の減免制度（最大半額）があります（減免要件あり）。市のオフィス立地促進補助金の助成対象の施設です（助成要件あり）。

充実した研究設備

半導体のケミカルプロセス室、イエロールーム、組立・測定室等の研究設備を利用できます（共同研究開発センター）。



一般利用も可能な便利施設

無料でミーティングルーム、交流スペース、体育館、トレーニングジム、テニスコート、シャワールーム、専門図書館などを利用できます。利用方法等については、ホームページをご確認ください。



研究機関

研究機関等の名称	入居場所	研究内容
北九州市立大学環境技術研究所	北九州市立大学	地球環境の変化と地域社会の要請に応えるため、環境エネルギー、バイオマテリアル、情報、ロボット技術等の分野の研究と技術開発を戦略的に推進
北九州市立大学環境技術研究所・Green LPG 研究室	事業化支援センター	LPガスの新技術に関する研究
北九州市立大学 福田研究室	情報技術高度化センター	マンション木軸材用「接着形成造作用芯材」の事業化に関する研究
九州工業大学 次世代パワーエレクトロニクス研究センター	九州工業大学および共同研究開発センター	省エネルギーの推進、電力の高度利用技術、自然エネルギーの活用等、低炭素社会の実現に貢献するパワー半導体を中心とした次世代パワーエレクトロニクス技術の研究を行う
九州工業大学 未来社会ロボット実装センター	九州工業大学および情報技術高度化センター	○極限環境に対応可能な特殊環境ロボット群の開発・実用化 ○医療・介護ロボットの開発・実用化 ○工場内自動化対応技術の開発・実用化 ○信頼できるロボットの実用化を支える品質保証を可能とするオープンソフトウェアの開発
早稲田大学 情報生産システム研究センター	早稲田大学情報生産システム研究センター	自動車エレクトロニクスおよびLSI分野における国際的水準の高度な研究、人材育成
福岡大学 産学官連携センター 北九州産学連携推進室	産学連携センター	環境産業に関する企業のニーズ、自治体の政策およびシーズをマッチングさせ、産学官連携による環境産業振興を展開
一般社団法人HiBD研究所	産学連携センターおよび事業化支援センター	再生可能資源、炭酸ガスを原料とする液体燃料製造の研究開発
公益社団法人無人機研究開発機構	産学連携センター	無人機全般について調査、研究および技術向上についての知識の交換、情報の提供等を行う場となることにより、無人機に関する研究の進歩普及
公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター	産学連携センター	資源循環型社会の構築に向けた、リサイクル技術の開発や社会システムの確立に取り組む産学官民による研究開発および事業化を支援
NPO法人運動脳科学研究所	事業化支援センター	小型の脳活動センサーを使用し、運動時の前頭前野の血流量を計測
特定非営利活動法人あそびとまなび研究所	事業化支援センター	竹コンポストを利用した地域における生ごみ減容の最適普及促進の実証研究

企業

入居場所	企業名	事業内容	入居場所	企業名	事業内容
産学連携センター	石田特許事務所	特許、及び実用新案・意匠・商標登録の出願手続の代理、特許出願等に関するコンサルティング	事業化支援センター	LOVO&Co.	クラウド上の生産設備を利用するスマートファクトリーの構築
	プラントメイクRISE㈱	焼却炉設備におけるコーティング剤開発、3Dスキャナーによる構造計算ソフトの開発		(同)ノーエン	農業における気象データ活用に関わる研究・開発
	㈱アイシン	画像認識・空間認識、車両制御等の要素技術開発		フォースウェーブ・パートナーズ㈱	ロボットを使った自動化・省力化システムに伴う、ソフトウェアの開発。システムの実証作業。
	ASTROCEAN㈱	設備の受託開発、エンジニアリングサービスの提供		㈱On&On	DX技術を活用したオリジナル和菓子の開発
	シーマ電子	設計・試作・評価・解析・製造などのサービスの提供、開発のサポート		● RoboPlusひびきの㈱	メカトロニクス設計・製造及び販売、コンサルタント業
開発センター 共同研究	㈱セキュリティ情報研究所	システム開発、システム保守（24時間365日）		㈱シンコム	半導体関連及びAI事業の受託設計
	㈱K2R	触媒反応を利用したラジカル種含有の水の生成装置の研究開発		㈱ココプラス	エクソソーム化粧品原料の研究・開発
情報技術高度化センター	㈱Power Diamond Systems	ダイヤモンド半導体を使用したパワーデバイスの開発		㈱Windy	病院、薬局で使用するソフト開発、自動車工場での作業分析ソフトの開発
	● (同)数理工学研究所	数理工学に関する研究及び開発事業		Japan Quality㈱	半導体製造現場の生産性向上、事業拡大並びに多様化。
	㈱ITS	組み込みシステムの設計・開発および、半導体集積回路等電子部品の研究開発		● ㈱センタシスアカデミー	低消費電力のエッジAI半導体の開発 半導体設計人材育成、半導体製造人材育成
	㈱華仁サービス	外国人留学生の誘致及び就職に関するマーケティング戦略の研究		JETS社労士・行政書士事務所	産学連携促進を目的とした中小企業の経営支援、補助金助・成金申請サポート
	アイサントクノロジー㈱	自動運転に係るコンサルティング事業 三次元地図データベース整備のためのソフトウェア研究開発業務		㈱J.A.M. Engineering Institute	次世代ロボット用アクチュエータおよび次世代高精度加工用高速主軸モータの要素技術研究。次世代リニアモータの効率化研究。省エネモータ、宇宙用モータの要素技術研究。
	● (同)共創テクノロジー	VR、Webシステムなどソフトウェア研究開発、イベント制作、3Dプリンティング技術に関するコンサルティング		㈱Merihari	被災地向け生活水供給ユニットの開発、雨水貯槽システムの開発、貯蔵水や生活水の迅速衛生検査法の開発
	SICC GLOBAL㈱	単結晶SiCウェーハの開発・製造・販売		㈱SmartOne	人協働ロボットを使用した自動化システムパッケージの開発、システム構築に必要なハード、ソフト開発・商品化
	● ㈱有ピー	画像処理システムおよびソフトウェアの研究開発		㈱宙宙技研	衝撃試験機器の開発、設計、組立及び宇宙機器の設計組立。教育教材の開発
	● 実研開発㈱	臨床工学教育機材、光伝送生体信号測定装置の開発・販売		㈱豊光社	プリント基板の製造、直流用電流センサ「PICASOR」シリーズの開発、販売、ナノレベル接合技術による、次世代要素技術MARBSの開発
	● ㈱ブラテック	Webシステム開発、アカデミックソリューション事業		㈱シキノハイテック	半導体設備の設計/製作/調整、LSI回路設計/レイアウト等
事業化支援センター	アネーラ税理士	監査業務、各種税務書類の作成、税務代理、税務相談、税務コンサルティング		吉川工業㈱	RF-IDに関する研究開発事業
	㈱AKシステム	半導体製造装置製作技術等の新産業分野（医療・福祉等分野）への応用研究開発		㈱C&Gシステムズ	金型設計・加工用CAD/CAMソフトウェア開発
	● アーティックス㈱	IoT、人工知能、ブロックチェーンなどに関する研究開発		シャボン玉石けん㈱	無添加の化粧けん、家庭用洗剤、消火剤などの製造販売
	● レアメタル技研㈱	リチウム吸着剤の大量合成による事業化		㈱トリコ	電気部品の開発・修理
	環境エネルギー㈱	バイオジェット燃料の開発・実用化、バイオディーゼル燃料の高級質化		● ㈱FILTOM	プラセンタエキス（豚胎盤液）を使った化粧品の開発・製造・販売
	● ひびきの電子㈱	電界共振型生体センシング及びセンシングデータ解析システムの開発		● ㈱セキュアサイクル	行動認識技術の汎用化プラットフォームの開発およびセキュリティ事業
	㈱ワークス	ワイヤレス給電技術を利用した消化管内自走式カプセル内視鏡の開発		KOA㈱	電子部品、センサ素子、センサモジュールに関する情報収集、情報交換ならびに産学共同開発
	● ㈱ロボサイエンス	小型水中ロボット（船底清掃ロボット等）の開発		㈱正興電機製作所	スマート保安に関する技術と脱炭素に向けた再エネソリューション技術の研究開発及び大学・企業連携
	㈱アポロジャパン	スクリーンコードおよび自動運転の基盤技術開発		大陽日酸AT㈱	ドライアイス洗浄装置や金属3Dプリンタの使用方法に関する研究開発
	HMコネクト㈱	除菌・抗菌・消臭液の効果検証及び効果持続性のある商品の開発 クリスタル硝子内部にレーザー彫刻した絵柄のLED照明演出装置開発		プレミアムエンジニアリング㈱	協働ロボット（アーム型、自動搬送車AMR型）を使ったシステム開発、エンドユーザーがロボットを操作できる迄のトレーニング等
	(一社)進路指導・キャリア教育支援機構	中等教育における進路指導・キャリア教育・就職指導の研究		● 東芝ナノアナリシス㈱	半導体メモリの解析・評価、パワーデバイス等の半導体の解析・評価
	● ハインツテック㈱	細胞内への物質導入・細胞内物質抽出のための、ナノ構造体を用いたツールの開発・製造、およびそれらを用いた研究開発支援			

入居企業数：57社
※●印は学研都市発ベンチャー企業（14社）
令和7年8月1日現在